



広報

平成元年

よこしば

9

おかげさまで

300号

発行 横芝町役場 〒289-17 山武郡横芝町横芝636 ☎0479②1111代 毎月1日発行



祭りが支える地域の絆

古川が独自でつくった祭り「うかれ傘燈^{さんとう}」

主な内容

- 夏祭り座談会 P 2~12
- 創部89年あこがれの甲子園 P 13
- ふるさとの祭りと年中行事「盆」 P 14
- 広報300号への歩み P 15
- 平成元年度個人住民税のあらまし ... P 16~17
- お知らせ P 18~22

横芝町の人口と世帯 <8月1日現在>

人口	14,629 (+15)
男	7,113 (+11)
女	7,516 (+4)
世帯数	4,064 (+14)
()内は前月比	

ふるさと資金の1億円がき
つかけとなり、いま、各地で
まちづくり論議、アイディア
合戦が活発になっていきます。
そこで今回は、夏祭りでの「若
頭」や実行委員をつとめられ
たみなさんに、祭りの意義や
夢といったことについて伺い
ました。

司会 一大イベントが終わってホッとしたとき
だと思いますが、今の心境から伺いたいと思
います。

庄内 正直言って、「若頭」って何をやるんだ
かわからなかったんです。無我夢中のうちに祭
りが終わったっていう感じです。急に引き受け
ることになったものだから。こんなことなら
去年よく見ておけばよかったと痛感しています。
木島 新島地区には「昭和会」というグルー
プがあつて、祭りのほとんどを昭和会で運営して
いるんです。農家が多いものですから、祭りの
準備と仕事が多かったときは大変でしたが、メ
ンバー全員でやってきましたから、個人的な辛
さはありません。

内田 とにかく終わってホッとしています。今
まで若連として祭りにも毎年参加してしました
が、若頭となるといろいろな気をつかいますね。
思いどおりにいかないのが祭りかもしれません



躍動感あふれる子どもたち
(鳥喰上・鳥喰新田)



▲ 車に飾りをつけた「引き太鼓」
(上 町)



▼ 子どもも大人も意気統合

ね。台風もあったし。
司会 古川のふるさと祭りは「古川音頭」のおひろめを兼ねて行われたそうですね。ご苦労も多かったと思いますが。
大澤 言葉で表わすのはむずかしいですね。この地区でも同じだと思いますが、ほかの役員さんのバックアップもあって、無事終わることができました。感謝しています。
実川 祭りは終わりましたが、すぐに盆踊りが控えているんです。その準備もあるんで、な

かなか休めませんね。でも各役員がベテラン揃いなので、ほかの地区の若頭さんより楽なんじゃないかな。
司会 それは大変ですね。ぜひ盆踊りも頑張ってください。
本町の市原さん、大きな山車を子どもさんから大人まで、みんなが参加しているっていう感じを受けたんですが、いかがでしたか。
市原 正直いってホツとしています。
山車の話が出ましたが、大勢の人が参加し

座談会出席者

- 市原 志朗さん (本 町)
- 伊藤 弘行さん (中 台)
- 内田 芳一さん (上 町)
- 大澤 忠雄さん (古 川)
- 小川 幸廣さん (東 町)
- 勝俣 實さん (鳥喰上)
- 木島 昇さん (新 島)
- 斉藤 重宏さん (北清水)
- 実川 雅之さん (東 町)
- 庄内 賢一さん (北清水)
- 片山総務課長

てくれないと重くて引けないんです。人を集めるのに大変なんです。役員のかげ声だけではどうにもなりませんからねえ。親戚の人たちが来たときに自慢できるような祭りになりたいんですか……。

司会 勝俣さん、鳥喰は今年みこしをつくったそうですが、みなさんの反響はどうでしたか。



(北清水)

▲ 雨の中、踊りで景気づけるお母さんたち

▼ 子どもたちの笑顔が印象的



勝俣 今まで樽みこしだったんですが、今年は本物のみこしになったんで子どもたちも大勢集まってくれました。去年よりはるかに盛り上がったんでよかったですと思っています。

司会 伊藤さん、中台は8月下旬に祭りを予定しているとのことですが。

伊藤 もともと9月1日に行っていたんですが

子どもたちの夏休み中にやろうということで、8月下旬になったんです。

司会 伊藤さんは各地区の祭りに招待されて、舞台の上で活躍されていると聞いていますが、それぞれの地区の印象はいかがでしたか。

伊藤 いやあ、どうも。やっぱりどこへ行っても祭りは楽しいですよ。祭りと聞いただけでう



みこしを作って2年目の北清水 (上塚小付近で)

もがいている地域の祭り

住民の参加が「カギ」

きうきしますから、条件反射なんでしようね。
(笑い)

司会 みなさんの地域で目指す祭りってどんな
ものですか。

斉藤 50日位前から準備にとりかかったんですが、一番の問題は、新しく清水の住民になっていただいた方々にどうしたら参加してもらえなかったということでした。子どもたちはすぐ友達になっちゃうんですが、大人の協力はなかなかむずかしいですね。夜の会場には、夕涼みを兼ねて来てくれるんですが、おみこしワッシュヨイというわけにはいかないんですよ。その辺が今後の課題ですね。

木島 うちの地区では、まえもってうちわを配るんです。少しでも祭り気分を盛り上げたいから。子どもたちにはポスターを書いてもらったりして。

庄内 清水は、イラスト入りのプログラムを作って配るんです。効果は十分には上がっていませんが……。それと、うちの方の子どもはみこしを担ぎたがらない。親の手を借りてたださわっているみたい。ちょっと盛り上がりには欠ける感じを受けますね。

斉藤 新島と同じ日になっちゃったからその影響もあるんじゃないかな。子どもはみこしより山車の方がいいのかもね。

小川 子どもがみこしを担ぎたがらないそうですが、東町の場合は競争ですよ。みんな担ぎたくってしようがないみたい。親は交通整理にまわってね。

大澤 古川には「うかれ傘燈」っていうのがあるんですが、これが舞台になったり、はやしにのせて回したりできるようになってるんです。ほかの地区のみこしや山車の代わりで、大人も子どもも関係なく参加できるように工夫しています。古川に住んでいる人の出身地は、全国に散らばっていて習慣も違いますので、思い切って古川独自の祭りを作ったんです。「古川音頭」もそんな思いが込められているんですよ。

市原 本町の山車は、子どもとお母さんたちで引いてくれるんですが、ある程度高学年になるとみこしに移るんです。ですから山車を引く子どもが少なくて、大人が引いてるって感じになっちゃうんです。清水で山車を出そうかっていう話がありましたけど、人を集めるのが大変ですからねえ。ある程度になると、どうしてもこしを担ぎなくなっちゃうんですね。だから二日間で、一日はみこし、一日は山車っていう案も出たんですが、結局は両方になりました。華やかなほうがいいですもんね。

実川 うちの方にも古い山車があるんですが、子どもたちで引くのは大変です。今年も盆踊りに使ったあとどうしようかっていう話が出てるんです。汗を流して引くからいいんですけど……。

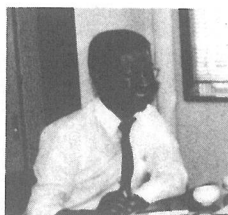


◀ カレーうどんの早喰い競争とはいっても愛する妻との二人羽織（演芸会場で）



▲ 手づくりとは思えない立派なみこし（新島）





庄内 賢一さん



内田 芳一さん



伊藤 弘行さん



市原 志朗さん



小川 幸廣さん



実川 雅之さん

大澤 やはり祭りは汗を流してみんなと同じことをやるっていうのがいいんじゃないですか。汗も流さないで、みんながバラバラなことをやっているんじゃないからねえ。

実川 みこしだってもっと軽けりや楽でいいんでしょけど、それでは祭りにならないもん、やっぱり大勢で担ぐところがいいんじゃないかな。
斉藤 地域の条件の違いもありますね。清水なんか各休憩所の間が4・5百メートルもあるからね。で、みこしの場合には不思議なもので、交通渋滞の中を担がないと意気が上がらないですね。田んぼの中の道で燃えろというのが無理なのかもね。(笑い)

内田 上町にも昔から山車があるんですが、飾る程度で実際には引いていません。その代わりに、自動車に飾りを付けて「引き太鼓」として子どもが引いているんです。評判もいいですね。やっぱり重い山車は大変ですよ。

司会 伊藤さんの地区の祭りはスムーズにしているんですか。

伊藤 8月下旬なんて準備の段階ですが、たとえば「はしご獅子」の練習をしても、自分ひとりくらい行かなくても、っていう考えがなかにあるんです。その辺が問題になっちゃうんです。

祭りも7年、8年続けてきて、出し物がマンネリ化して飽きられているところもありますね。やっぱり少しずつでも内容を変えていかないと来てくれる人が減っちゃいますから。

勝俣 それは確かにありますね。毎年みこしにはやし、そして踊りでは飽きちゃいますからね。だから、うちの地区では「花火をやるう」つ

ていうことになって今年初めてやったんです。毎年ちよっとずつ変えて、参加してもらうためにもがいているんですよ。

マンネリ化を断ち切る アイディアづくし

伊藤 仮装行列をやったときがあるんですが、かなり請けましたねえ。

斉藤 やっぱり祭りは大勢でなけりあね。どこの祭りも役員さんは大変な苦勞をしているんですね。むりやり来てもらうんではなくて、自然に集まってもらうためのアイディア合戦ですね。

演芸大会、特に歌の場合、地元の人に歌ってもらうと「ああ、またあの好きなやんらうが歌うのか」ではまいっちゃう。だから今年は、コンピュータの専属歌手を呼んだんです。安かったですけど。(笑い) 伊藤さんにはただで出演していただきまして申し訳けない。(笑い)

花火は雨と風でまいりました。いつ上げたらいいのかわかんない。結局暗くなったらすぐに上げちゃいました。そうしたら隣の新島も同時にドカーンでしょ。ちよっと芸がなさすぎましたね。一緒にできたらもっと迫力あったと思いますね。でも天気には泣かされました。

実川 うちの方も上町・本町で相談して日程を決めたんですが、2日間とも雨でしたから…。当初は7・8日という話しもあったんで残念で



お祭りムード一色の本町
終日おはやしの音色が響きわたっていた

した。これがほんとの「後の祭り」ですね。
(笑い)

内田 だから、うまくいかなかったのは全部天
気のせいにしちやいましたよ。(笑い)

庄内 あの天気じゃ「帰らないでください」つ
て言う方が無理ですよ。

斉藤 今年初めての試みとして、各休憩所ごと
に、休憩時間をいかに楽しく過ごさせてもらえ
るかかっていうコンクールをやったんです。審査
員は各地区の役員、それを見ていて各地区が相
当苦労しているっていうのがわかりました。去
年つくったみこしなんで、2年目になったら人
出が少なくなっちゃったーではまずいというこ
とで大変でした。これからも続けていかなきゃ
いけないしね。

司会 今年みこしをつくった鳥喰はいかがでし
たか。

勝俣 やはり新しいみこしですから、子どもた
ちもハッスルするし、ほかの地区からも見に来
てくれていましたね。

むら結束の

黒子役

司会 祭りの内容が続いたんですが、祭りを行
うことによって、そこに住む人の結束や考え方
などが変わったと思いませんか。

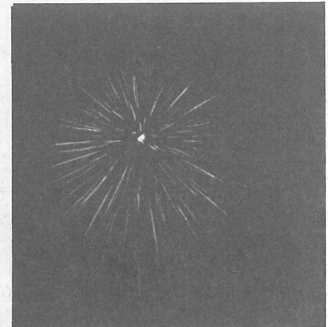
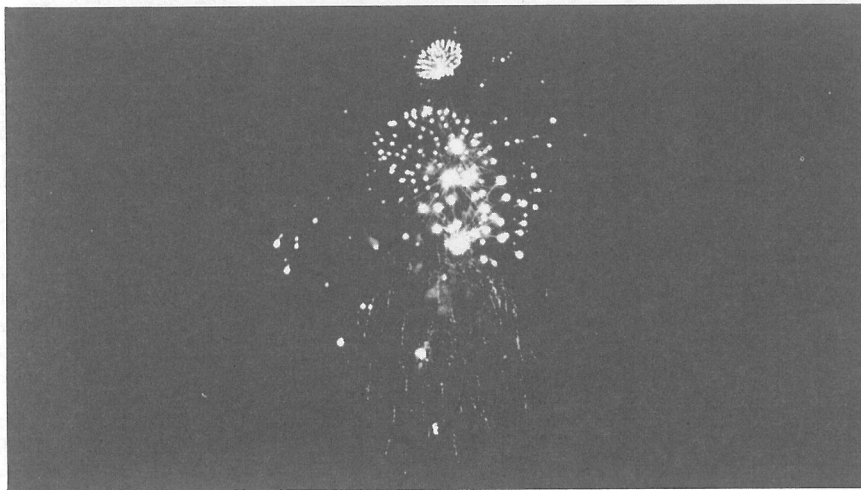
庄内 清水には新しく引越してきた人がかなりいますが、普段のつきあいがなくても、祭りを通じて交流ができてきていると思います。全部が全部ではありませんが。そういう意味ではいいことだと思いますね。

勝俣 祭りをやったからって一気にむらが結束するっていうのは不可能だと思います。一つのステップとして徐々に固まっていくなじまないでしようか。

大澤 古川には、新しい人がたくさんいます。一時、消防団員になる人がいなくて困ったんですが、若連ができてから若い人の交流ができたんで、その後は心配なくなりましたね。町民体育祭の選手なども、比較的スムーズに決まります。地域のまとまりにはすごく貢献していると思います。

斉藤 そうですね。町民大会の選手や応援についても、祭りをを行うことによってできた和というものが、大変役立つことは事実ですね。勝俣 うちの鳥喰は、農村部だけど、今は勤め人がすごく多いです。だから同じ町内に住んでいながら、なかなか話しをする機会がないんですね。村中で祭りみたいなものをやれば会話も生まれるんで、そういう人と人のつながりをつくるために、祭りは必要だと思いますよ。

木島 うちの祭りは、みこしと演芸会なんです。夜の演芸会では、とにかくむらの人を一人でも多くステージに上がってもらえるようにスケジュールを組んでいます。企画する人は大変ですが。メインは富くじ。今年の一等はカラーテレビでした。花火も上げました。途中で帰る人はいませんでしたね。くじを最後にやりまし



雨の中で打ち上げ
夏の夜に花火はつきもの!?

(新島・北清水)

たから。 (笑い)

司会 新島は、会場がライスセンターというところで、今回のような天気では強みですね。

木島 今年はつくづくこの会場でよかったと思いましたね。

斉藤 こんな座談会、何回も開いてもらいたいね。いいところはほとんど取り入れて、お互いに祭りを成功させたいですからね。

市原 そうですね。それによっていいむらやまちができると思いますから。

木島 東町・本町・上町はスポンサーが多いから、経費面では楽でしょうね。

大澤 実際のところはわかんないけど、外からだと楽に見えちゃいますね。

木島 うち資金が少ないこともありまして、お金をかけてタレントを呼ぶなんて考えたことありません。住んでいる人の誰かをステージに上げれば、何か面白いことをやってくれるんじゃないかって。今回も夫婦ペアで二人羽織をやったりして。:

実川 うまくいかないとお金に頼ってしまいました。:

今回チビッコタイムをつくったんですけど、出てくれる子どもがいなくてね、お金を出してもタレントを呼んじやった方が楽かなって考えちゃいました。

木島 実際問題、素人が2〜3時間のステージをきりまわすのは大変ですからね。

伊藤 プログラムを組むに当たって、同じものが続いちゃうとまずいし、それだけでなくもハプニングの連続ですからむずかしいね。

見え隠れする境界

齊藤 鳥喰は全地区でやったんですか。
勝俣 鳥喰上と新田です。

齊藤 私は思うんですが、となりの地区同志で同じ日に祭りをやって、同じように花火を上げてるんですねえ。もったいないような気がしましたね。お互いに話し合っただけでよかったなあって感じています。みこしや演芸はともかく、花火大会は実現できたんじゃないかな。今は各地区ごとに行っていますが、小さな地区では限界がありますからね。これからは地域がまとまって祭りをやるべきじゃないでしょうか。

司会 祭りの将来像の話が出ましたので、これからの祭りのあり方や夢といったものについて話し合っていたのですが。

齊藤 確かに祭りは大きい方がいいと思います。いろんな人に見に来てもらえますから。地元の祭りはその土地のカラーを大切にしている。夜の部は大舞台を仕立てて各地区が集結するっていうのもいいと思います。坂田池のふれあい広場なんかいいじゃないですか。

木島 我々（昭和会）は、むらづくりという目的で、子どもたちを中心に考えているんです。「今年より来年」という気持ちはありますが、大きな祭りまでは考えていません。

伊藤 中台の演芸は各地区交代で出してもらおうようにしています。各班長さんに任せていますがいまのところ順調ですね。

大澤 祭りは内容が豊富になればなるほど経費

条件反射のピース ▶



台風のと風について
若いエネルギーが燃えた

（東町）



がかかるのは当然なんです。うちの町内会での会合で、祭りがエスカレートしているという指摘があったんです。そこで我々は、「エスカレートではない、盛り上がりなんだ」と反論したんです。祭りの運営はすべて若連でやっていますので、町内会の理解が少なかったんですね。ところが今年、町内会長が祭りの役員を兼務したんで、若連の苦勞をわかっていただけだからしく、今年は何も言われませんでしたし、逆に、ねぎらいの言葉をいただきました。

夢はまちづくりも 行政のバックアップも

司会 これからはどのようにしていきたいと思えますか。

大澤 ともかく、もつともつとアピールして、今の「うかれ傘燈」を横芝の名物にしたいと思っています。本町・上町・東町は歴史もあって立派です。古川はまだ始まったばかりですが、頑張りたと思います。

市原 本町は、規模的には今が限界だと思っています。これからは区民総出の祭りに仕上げていきたいと思っています。役員の祭りにならないよう、みんなが気軽に参加できるようにするのが課題です。

齊藤 清水のはやしは今年で3年目なんです。練習中は東町の若連に随分ご迷惑をおかけしました。やっと地元のはやしが一人前になった



齊藤 重宏さん



大澤 忠雄さん



片山総務課長

んで一歩も二歩も前進ですよ。これからは清水カラーを全面に出していきたいですね。古川音頭も参考にしますよ。

総務課長 いろいろな意見ができましたが、整理してみますと、これからは人づくりのような気がします。そこに住む人たちをリードするための人づくりじゃないかと思えます。

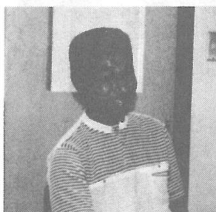
そういう人がいる地区は、おのずから住民が

ついて来るんじゃないかって。立派な祭りが行われているところが必ずしも長者が揃っているとは限らないと思います。また、それぞれの地区で夏祭りが盛大に行われているんですが、全体としての盛り上がりは今ひとつ足りないようにも思えるんですが。

実川 3年前に上町・本町・東町が合同でやったことがあったんですが、各地区ごとに問題が出たんです。その一つがみこしの通る経路です。やはり、きめ細かく回ってもらいたいっていう気持ちほどの地区にもありますからね。一度は試みたんですが、元に戻ったんです。

祭りをもっと大きくしたいっていう気持ちはありますが、最終的には去年並みにしようかってなっちゃうんです。横芝全体でやるっていういいことだと思えますが。

司会 マンネリ化しているんで、今ひとつ魅力が湧かない点などもあるようですが、上町の



勝俣 実さん



木島 昇さん



熱い討論は3時間にも及んだ

内田さんいかがですか。

内田 最終的には、去年と同じようにやろうかってなっちゃうんですよ。

斉藤 土地風は残す、鳥喰は鳥喰、新島は新島清水は清水っていうような祭りは、伝統の中で生きているわけですから、これは絶対に残すべきだと思えます。

そのほかに、各地域のリーダーを一同に会し

て、横芝の祭りのあり方を考えなきゃいけないと思います。統合した祭りでもいいでしょうし体育祭なんかを利用してもいいと思いますね。町独自で大きなイベントを考える時機だと思いますね。

実川 やっぱり各地区間のまとめ役には、行政の力も必要だと思いますね。調整役として。

勝俣 行政の力も必要ですが、PRも大切ですね。横芝はそこが不足してるんじゃないかな。新聞折り込みで遠くの町のチラシも見かけますから。

伊藤 今はPR時代ですよ。

大澤 八日市場は、祇園もよかつべ祭りもみんな結束してやってみたいですね。だから盛り上がるんですよ。

横芝は、それぞれ別個にやってるんで、目立たないんですよ。

斉藤 私思うんですが、町民体育祭当日、大勢の人が集まるから、それを利用したらどうですか。体育祭も盛り上がって一石二鳥だと思いますが。

内田 規模が大きくなって、企画する側が大変でしょうけど、まちの団結にはうってつけじゃないですか。

大澤 まちぐるみでできれば夢のようですね。住んでいる人にだって喜んでもらえますよ。

司会 各地区ごとの祭りに限界を感じているようですが、行政に対する具体的な要望をお聞かせください。

庄内 みんなが楽しく過ごせる施設として公園を整備していますが、この公園を使ってイベントを企画していただきたいですね。

斉藤 体育祭で感じることですが、百メートル

疾走や砲丸投げのような個人競技はどうかと思いますね。誰でも参加できて、入賞できるようなものを期待したいですね。その中に各ブロックの催しを入れたらどうか。競技だけでなく、祭りとしての雰囲気をつくる方が大切じゃないでしょうか。

木島 各地区のみこしを繰り出したら盛り上がりそうです。

大澤 私は、この会合を設営してもらってすごく嬉しかったです。

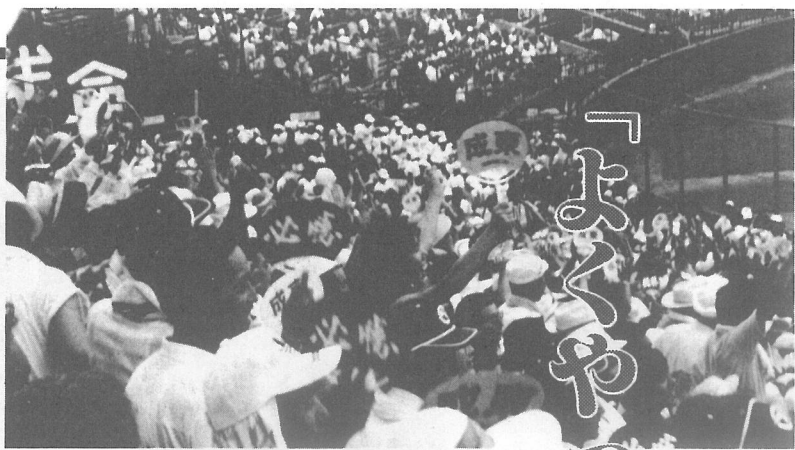
私も夢もっています。みんなで話し合っているかは大変な祭りをやりたいと思っていますから。

市原 これだけ自分たちのまちのことを考えているんですから、行政としても積極的に祭りやイベントづくりを考えてほしいですね。町のPRにもつながると思いますから。

総務課長 確かにそう思います。今おっしゃられた町民体育祭にしても、とかく前年踏襲で無難に消化したいっていう気持ちになってしまっているんです。しかし、今の時代はそんなことを言うていたんでは乗り遅れてしまいます。心の豊かさを求める時代ですから、役場の考え方も大きく変えなければなりません。そのためには、各地域のリーダーであるみなさんに十分に話し合っていたいただき、行政にぶつけていただきたいと思えます。

司会 いろいろと活発なご意見をいただきありがとうございます。役場にも大きな宿題をいただき、嬉しく思っています。(笑い)みなさんのご活躍を期待しております。

(編集・広報防災係)



「よくやった」

町の誇りだ

押尾くん

成東高

甲子園へ地元応援団が続々

へ乗りこみ声を限りの大声援をおくりました。

関東一の剛腕といわれ、

全国でも屈指の右の本格派といわれた押尾君は、試合

度胸も満点、地元の熱い声援にこたえて評判通りの怪

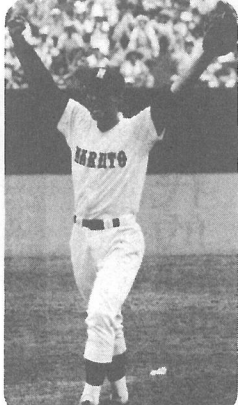
童ぶりを発揮、見事に初戦を飾って、アルプススタン

ドから内外野席までを埋めつくした溢れんばかりの大応援団を狂喜乱舞させました。

第二戦は、初戦以上の力投をみせましたが球運味方せず

アンラッキーが続き、惜しくも第三戦へ駒を進めることができませんでした。

「これほどまでにグラウンドとスタンドが一体となり、まさにるつぽと呼ぶにふさわしい熱狂の場をつくった



涙の熱投で全国のファンを魅了した押尾投手



あざやかな赤白のチューリップハットで声援をおくる、地元上町応援団のみなさん

春先に痛めたヒジが完治せず、持ち前の豪速球で全力投球できなかった悔しさからか、最終回は涙の投球――

その姿に大きな感動をうけた大観衆から「オシオ」「オシオ」の大コールがおこり、

試合終了後も、その健闘をたたえる拍手はしばし鳴り止まず、いつまでも銀傘にこだま

していました。

試合をみたことがない。、初戦後の作詞家阿久悠氏の言葉ですが、歓喜と涙でつづった思い出の夏は、甲子園という大舞台の中で、郷土が一つになつての人の和をもたらし、

さわやかに過ぎ去りました。押尾君！すてきな夏があり

がとう。横芝町の名を全国に広めてくれてありがとう。

怪物くん エピソード

よりすぐりの甲子園球児の中でも、ひとときわ注目を集める逸材だけに、怪童ぶりを示すエピソードは多い。

少年野球で指導をした水野忠征さん（東町）によれば、小学一年生で既に六年

生以上の遠投力があり、高学年になると、もう大人でも捕球が怖かったそう。

女房役を務めた八角君は初めて押尾君の投球をみて

「これが同じ人間の投げる球か」と腰を抜かしたとか。

あまたの野球学校からの強い誘いを除け、あえて進学校の成東を選んだのも本人の選択。決して強力とは言えないチームを引っ張り

誰もが果たせなかった甲子園を実現させたのだから正しく怪物だ。

恵まれた素質と強運で一

気に登りつめた甲子園だが、最後にみせた純真さは感動

的で、素晴らしい人間性をみ

た思いがした。大成を祈ってやまない。

（K）

ふるさとの祭りと年中行事

6

盆

—そのルーツと現代的意味を探る—

* 文明としてのイエ社会の年中行事 *

根深ければ枝さかえ

私たちの祖先は、何よりも人と人とのつながりを大切にしてきました。精霊祭りの座にあるとき、人間の生き方・人間という存在の深さに触れずにはいられません。

ご先祖の霊（精霊）を家に迎えて祭る行事に盆があります。盆は、仏教では「盂蘭盆経」にもとづいて釈迦の弟子である目連が、餓鬼道におちた母をはじめ七世の父母を救うために、夏安居を終えた僧たちを旧暦七月十五日に供養したのにはじまるといわれています。わが国では齊明天皇三年（六五七）のこの日に父母のために「盂蘭盆経」を誦させたのが最初だとされています。

盆の行事は七月一日にはじまり、この日は地獄の釜の蓋のあく日といわれ、新盆の家では竹竿に灯ろうをつけて軒に立てかけます。またこの日には祖霊の通る盆道もつくられます。

現在は星祭りとして知られている七夕も、もともとは、「ナヌカボン」といわれ、仏具洗い、墓掃除、井戸さらいなどを行う日でした。そしてこの日から盆の物忌に入りました。

十一日～十三日には盆花迎え（仏様迎え）、盆棚つくりがあり、十三日の夕には精霊が迎えられます。

十五日ごろには檀那寺で施餓鬼が行われます。これは、帰るべき家をもたない餓鬼たちを僧侶が供養して仏弟子として成仏させ、その回向の功德が、檀那の先祖たちに及ぶ

を交わし合います。このときの贈答が中元（七月十五日）と呼ばれています。平素会うことのできない人たちがお互いの無事を確かめ合い、先祖とのつながりを確認し、祈りをこめます。ですから盆は、祖霊の祭りであるとともに、生見玉（生者の霊魂）の祭りでもあります。

このように盆は、七月の半分以上にわたる行事です。子孫たちが、祖霊を共同で祭ることによって家族・同族更にムラ人相互のつながりが確認され、それが盆踊りなどを通して強い連帯意識となっていくきます。この同朋意識が町づくりの力強い原動力となっていくきます。

ことを祈って作法を終わっています。この儀礼によって家々では餓鬼に煩わされることなく先祖祭りができるのです。

十三日～十五日には家族・親族たちは盆参りをし、盆礼

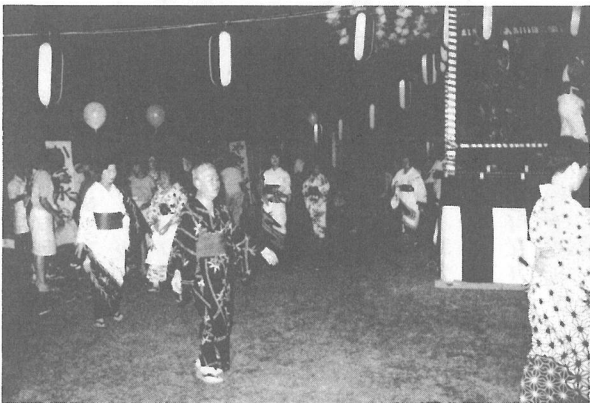
盆の際の連帯と集団的高揚は、盆踊りに生き生きとパフォーマンスされます。

十六日の夕には送り盆があります。盆棚がかたづけられ灯ろう流しが行われます。

ところで「仏の正月」という年中行事がありますが、一見何のかかわりもないように見える盆と正月（大・小）を比較し、その類似点・相違点をなどを改めて見直してみると、なかなか興味ある問題ではないでしょうか。そこには意外な、必然的な照応がみとれるはずですから……。

上町のみなさんの協力で行われた老人ホームの盆おどり大会(%)

(文化財審議委員 藤代弘一)



広報よこしば 三〇〇号への歩み

町民の皆さんと町とをつなぐかけ橋として、月々お届けております「広報よこしば」が、皆さんのご協力のお陰で三〇〇回を迎えました。

そこで、創刊から今日までの広報紙の移り変わりをその間に掲載された主な記事をまじえながら振り返ってみました。

◇創刊まで

広報第一号が発刊されるまでの間は、公民館報とか町報などの名称で年2回、謄写板印刷の回覧板で町の行事などをお知らせしていました。

◇創刊号(昭36・11・5)

たて長のタブロイド版2ページの創刊号を発刊、1か月間隔の発刊で印刷も活字に変わりました。

記念すべき一面の記事は、議会報告と伊藤績夫町長の発刊のあいさつでした。

◇第12号(昭38・11・15)

「ふるさと」の話題が始まる。

◇第26号(昭40・11・15)

横芝町合併10周年記念式典が行われる。

◇第42号(昭43・1・10)

新国道の一部開通、新栗山橋開通式を挙げる。

◇第43号(昭43・3・15)

2月に行われた町長選挙で椎名登さんが当選。

◇第46号(昭43・7・1)

タブロイド版であった広報紙が、現在と同じ大きさのB5版になり、発行も月一回となりました。

◇第73号(昭45・10・1)

横芝町で一日県庁開かる。

◇第82号(昭46・7・1)

町長に伊東巖さん当選。

◇第94号(昭47・7・1)

海の子供の国が完成、常陸

みなさんと町とをつなぐかけ橋として



宮ご夫妻迎え盛大に開園式。

◇第97号(昭47・10・1)

「横芝の碑」はじまる。

◇第127号(昭50・4・1)

合併20周年記念式典挙げる。

◇第130号(昭50・7・1)

佐瀬町長就任。

◇第158号(昭52・11・1)

「ひろば」欄スタート。

◇第166号(昭53・7・1)

成田空港の航空機騒音、中

台で1001ホン記録。

◇第183号(昭54・12・1)

台風20号襲来被害甚大。

◇第196号(昭56・1・1)

栗山川へサケ遡上。

◇第224号(昭58・5・1)

「町と議会の動き」コーナー設ける。

◇第234号(昭59・3・1)

大雪舞いチャップイ一日。

◇第245号(昭60・2・1)

合併30周年記念号「新たな明日へのたびだち」

◇第271号(昭62・4・1)

題字をひらがなに、表紙などにイメージカラー用いる。

◇第281号(昭63・2・1)

千葉県東方沖大地震と被害状況。

◇第289号(昭63・10・1)

町道坂田遠山線竣工、知事迎え開通式。

◇第293号(平元・2・1)

さよなら昭和、平成時代幕ひらく。

◇第300号(平元・9・1)

広報300号に、地元選手出場で甲子園ファイバー。

平成元年度 個人住民税のあらまし

平成元年度住民税

合計	譲渡所得	その他所得	その他の事業所得	農業所得	営業所得	給与所得	所得者区分	納税義務者数	納税額
5,378名	95名	349名	168名	295名	420名	4,051名	納税義務者数		
六億三千八百六十六万七千七百円	七千五百五十七万八千四百円	三千七百三十八万八千円	二千八百五十三万四千五百円	七億九千四百八千円	三千六百三十八万三千二百円	四億五千六百八十四万二千九百円	納税額		

今月号では、平成元年度個人住民税の地区別、所得者区分別の納税額等についてお知らせします。

最高額は 町原地区
一人当たりの納税額が最も多い地区は、町原の四十二万一千四百二十三円、次いで東町3の二十四万一千六十三円以下、本町4の二十二万九千九百二十円、東町2の二十二万四千三百八十二円、長倉の二十万二千九百十円となっており、所得金額に比例して納税額も多くなるため、数字の上では、町原がリッチマンの最も多い地区となりました。平均は 十一万八千七百五十五円、納税義務者の平均納税額は、十一万八千七百五十五円で、平均を上回っている地区は町内72地区中24地区、平均を下回っている地区は48地区です。

所得金額は

百二十九億一千万円

納税義務者全員（5,378名）の昭和63年中の所得金額（収入金額から必要経費を差し引いた金額）は、百二十九億一千五百十六万七千円であり、一人当たりの所得金額は二百四十万一千円となりました。

所得金額では

給与所得者

所得者区分別の所得金額では、給与所得が九十五億五千七百八十八万八千円で全体の74%を占め、次いで譲渡所得九億八千七百四万三千円、以下営業所得八億九千九百二十九万九千円、その他所得七億六千九百五十八万八千円、その他事業所得四億二千四百四十九万八千円、農業所得三億九千四百八十八万一千円となっています。

納税義務者数でも

給与所得

所得者区分別の納税義務者数でも給与所得が4,051名で全体の75%を占め、次いで営業所得420名、以下、その他所得349名、農業所得295名、その他の事業所得

168名、譲渡所得95名となっています。

納税額も

給与所得

所得者区分別の納税額では、給与所得が四億五千六百八十四万二千九百円、全体の72%を占め、次いで譲渡所得七千五百七十七万八千四百円、以下、その他所得三千七百三十八万八千円、営業所得三千六百三十八万三千二百円、その他の事業所得二千八百五十三万四千五百円、農業所得七百九十四万八千円となっています。

一人当たり所得金額では

最高額は

一千二十二万円が

所得者区分別の一人当たり所得金額では、譲渡所得が一億三千九百九十九万九千九百九十九円、次いでその他の事業所得二百五十二万七千円、以下、給与所得二百三十五万九千円、営業所得二百一十四万一千円、その他所得二百二十六万六千円、農業所得百十五万一千円となっています。

納税は納期内に

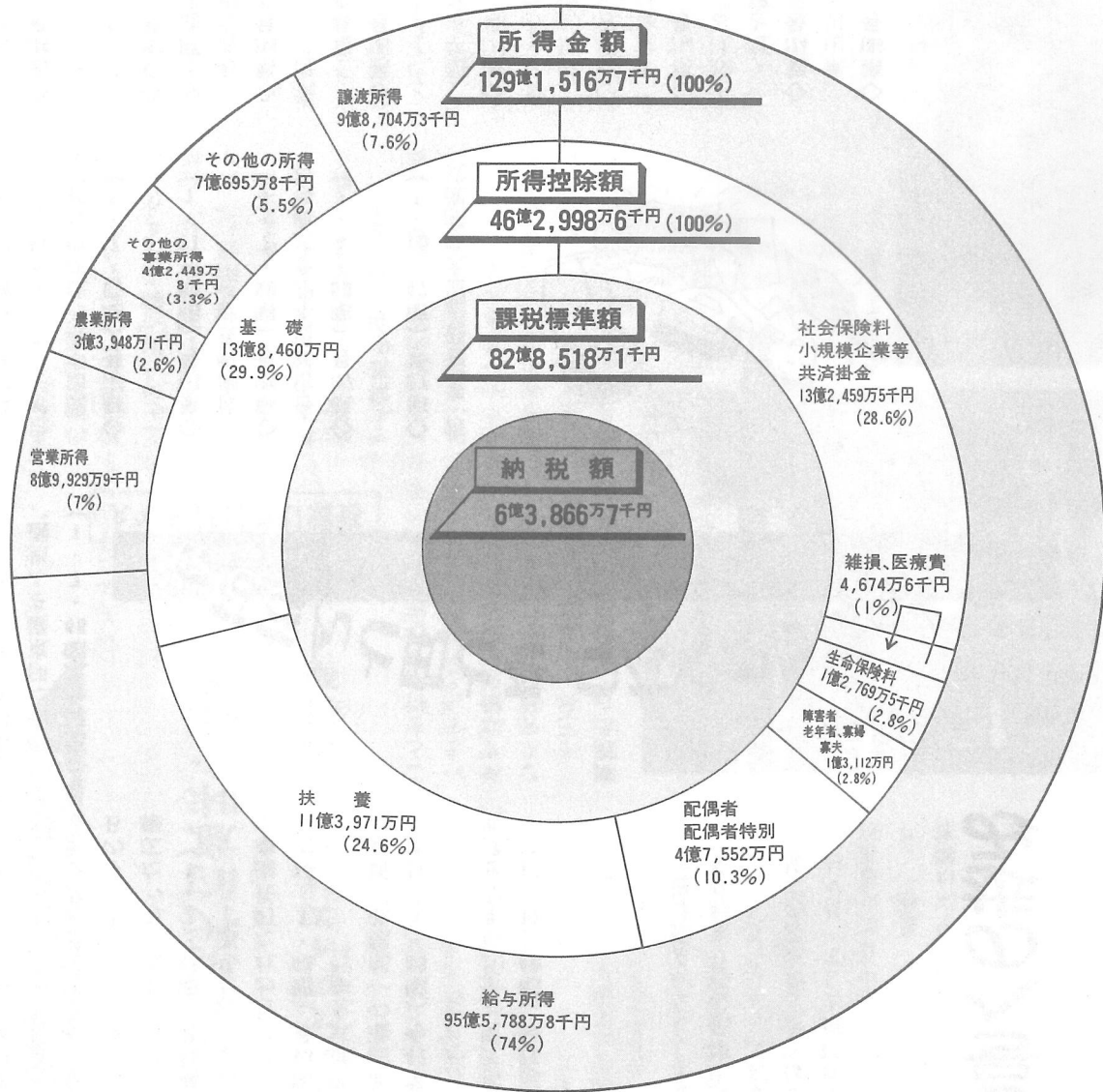
個人住民税の最高額はAさんの一千二百七十九万九千円、次いでBさん七百二十六万七千五百円、以下、Cさん六百二十五万四千四百円、Dさん五百九十三万五千六百円、Eさん五百八万八千円がベスト5となっています。

一人当たり納税額でも 所得者区分別の一人当たり納税額では、譲渡所得が七十五万三千四百五十六円、最も多く、次いでその他の事業所得十六万九千八百四十八円、以下、給与所得十一万二千七百七十二円、その他所得十万七千六百六十四円、営業所得八万六千六百二十六円、農業所得二万六千九百四十二円となっています。

本年の個人住民税は、六億三千八百六十六万七千円となりました。このうち約70%は個人町民税として、また、約30%は個人県民税として町や県の重要施策を実施するための貴重な財源となりますので、納税は必ず納期限を守るようご協力下さい。

(税務課)

平成元年度 住民税算出の概要



住民税は住民にとって身近な仕事の費用をそれぞれの負担能力に応じて分担し合うという性格の税金です。簡単に言えば、住民として暮らして行くために支払わなければならない会費のようなものです。

税額の算定は

$$\begin{aligned}
 & \text{所得金額} - \text{所得控除額} = \text{課税標準額} \times \text{税率(町民税)} - \text{税額控除} = \text{所得割} + \text{均等割} = \text{町民税} \\
 & \text{所得金額} - \text{所得控除額} = \text{課税標準額} \times \text{税率(県民税)} - \text{税額控除} = \text{所得割} + \text{均等割} = \text{県民税}
 \end{aligned}$$

のように計算します。

なお、平成元年度分の所得金額及び所得控除額に占める所得の種類と所得控除の種類等については上の図のとおりです。

真夏の海で元気一杯

＝海のつどい大会＝

7月30日の日曜日、屋形海岸で町青少年相談員による“海のつどい子供大会”が開かれました。



熱も入って真剣勝負

綱引き大会やすいか割り、宝さがしなど親子で楽しい一日を過ごしました。飯ごうならぬ竹筒で炊いたごはんにも人気が集まりました。



珍しいごはんに子どもたちが殺到

第20回記念

町民体育祭

成功させよう 自分たちのまちだから

仮装行列など新しいアイデア多数
この機会をお見のがしなく！

10月1日 横芝中学校（雨天の場合は10月10日）

文芸

俳句

洗ひ髪ひろげて寝息夜の秋

宇井 芝重

果物の熟れる香りや秋の夜

海保 きみ

草いきれごとりと動くローカル

勝又やすのり

蟬鳴けり逝いて欠けたる句座の

鈴木 草庵

席 行く先に一円玉光り草いきれ

鈴木 南知

月見草ゆれて対岸昏れなすむ

津田 若菜

夕立や敗れし球児土を打つ

藤代 ゆう

難聴の耳に音無く夜の秋

山口 一秋

入道雲上げて九十九の浜に寝て

若梅あやめ

うす味に耐えて酌みけり夜の秋

(選者) 土屋 栗水

短歌

人混みのホームを歩む鳩の辺に
しゃがみて話をかける幼

向後 泰治

大腿部の金属抜くは半年後手摺
につかまり階段くだる

斉藤 幸子

雑踏に肩たたかれて振り向けば

見知らぬ人の戸惑へる顔

樹の上を風はゆくらし双眼鏡に

鳥の胸毛のひるがへりるつ

海的面照れる日ざしに潮染めて

光りやまざり九十九里浜

天安門の広場流血のニュース聞

き訪れし日のアルバムを見る

葉袋に久しくその名書き来しが

内田志ん女の墓をけふ見ゆ

小学校の校庭に立つ大楠の枝は

らはれて幹をさらせり

勤め持つ身は出産の夕べまで働

き通せり美德と信じ

青函トンネルに入ればドットわ

く拍手とほうもなき夢人叶へゆ

く

(選者) 斎藤つね子



10月1日 商業統計調査

この調査は、全国の一般飲食店の実態を明らかにするため行われるものです。調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

詳しくは、企画空港対策室統計係（内線63）へ。



精神保健・難病相談

松尾保健所では、心を病んで困っている方や、なかなか治りにくい病気で困っている方とその家族の方々の相談を受けていますのでご利用ください。

精神保健相談

☆人間関係がうまくいかない
☆言動がいつもと違っていておかしい
☆仕事や学校に行かない（行けない）状態が続いているなど

■相談日 毎月第1・第3月曜日
午後1時30分～4時

■担当 専門医師、保健婦、精神保健担当者
なお、相談日以外でも、保健婦・精神保健担当者が随時相談を受けています。

難病相談

☆言葉がスムーズに話せない
☆歩きづらい
☆手足のしびれや痛み

■相談日 平成元年11月7日（火）午後2時～（申込み締切10月25日）
■担当 千葉大学医学部付属病院 精神内科医師
なお、精神保健・難病相談を希望される方は、あらかじめ電話で松尾保健所（☎0479-862411）予防課又は保健指導課まで申込み下さい。

松尾保健所



相談室をご利用ください

9月の各相談の開設日は次のとおりです。お気軽にご利用ください。

相談室	相談日	場所	時間	備考
健康相談	9月12日（火） 9月26日（火）	大 総 会 館 文化会館	午後1時30分 ～午後3時	40歳以上の方は健康手帳をご持参ください
教育に関する諸相談	毎週（月・水・金）	中央公民館	午前9時 ～午後4時	当日は、電話でも相談に応じます（内線67）
心配ごと相談	9月5・12・ 19・26日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時	
人権相談	9月5・12・19日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時	
行政相談	9月5・12・ 19・26日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時	

平成元年度
千葉県職員採用 初級試験
千葉県市町村立学校事務職員採用
受験案内

受付期間 9月4日(月)～9月13日(水)
第1次試験日 10月15日(日)

千葉県人事委員会 (千葉市市場町1番1号(県庁4F))
電話 (0472) 23-3743



建築基準

あなたの家
大丈夫？

10月11日から17日までは、「違反建築防止月間」です。建築基準に合っていない建物は、そこに住む人の安全が損なわれるばかりでなく、近隣にも迷惑を及ぼします。お互いに安心して暮らせるよう、わが家を見直してみたいものです。専門的なことについては建築士に相談を！

(建設課)

戦没者遺族の皆様へ

第五回 特別弔慰金が支給されます

■対象となる人
昭和60年4月1日から平成元年3月31日までの間に、公務扶助料・遺族年金等の受給権者がいなくなった戦没者の遺族(遺族が二人以上いるときは、そのうちの一人です)。
■支給方法
額面18万円の国債で、毎年3万円ずつ6年間償還されます。
■受付窓口・役場福祉課
くわしいことは、県庁厚生課 課保護係(☎0472-2315)へお問い合わせください。
(福祉課)

寄付

町社会福祉協議会へ (敬称略)

- 藤城顕義 1万円
- 宮永利雄・斉藤 旭
- 椎名吉治・市原義仁
- 伊藤清明・青柳 誠 5万6千円
- 地井武男(東京都) 4万3千5百円
- 東町若連 7千6百円
- 北清水町内会 3万円

受講生募集 — 県民政治大学 —

県選挙管理委員会では、県民政治大学の受講者を募集します。この大学は、県民であるみなさんに、政治や選挙についての理解を深めていただくため毎年開催しているものです。受講を希望する方は、葉書に①住所②氏名③年齢④性別⑤職業を明記のうえお申し込みください。申し込み先 千葉県市場町1の1 県庁地方課内 千葉県選挙管理委員会 ☎0472-2143 締め切り 9月30日 ▼開催日 10月18日、10月20日、10月24日、10月27日、11月1日で、いずれも午後1時から4時まで ▼会場 千葉駅ビル内 ペリエホール

出演

- ◎歌謡 浪曲 玉川カルテット
- ◎漫才 内海 桂子 内海 好江
- ◎落語 桂 米丸
- ◎歌謡 ショー 柁 圭介

公演は 午前(招待者) 午後(一般開放) の2回

入場無料

よこしば福祉のびどろ...

みんな楽しんで！
町では、体に傷害をもつ人やお年寄りよりのみなさんに楽しい一日を過ごしていただくため「福祉のつどい」を開きます。歌や漫才・落語、屋外ではミニSSLなどたくさん催しを用意しました。ぜひお越しください。

10月15日 横芝中

お誕生おめでとう

7月21日～8月20日届け出分

氏名	保護者	地区
芹川 修司	寿 昌	山 遠
配野 広大	英 昭	協 宮
宇井 康裕	康 郎	田 喰
鈴木 恵里	章 仁	川 古
渡邊 匠	敏 一	地 大
古村 嘉那	耕 一	3 東
早川依理奈	方 義	1の3 南
早野 理沙	茂 行	田 喰
藤代 洋喜	智 恵	3 東
海保菜津美	勝 美	南 川
鈴木久美子	明 雄	南 川

野菜をたくさん 食べるには...

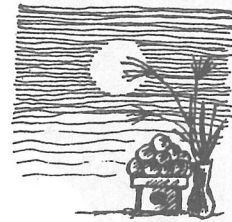


こんにちは！保健婦です

一日にとりたい野菜の量を知っていますか？答えは300グラムです。（緑黄色野菜で100グラム、淡色野菜で200グラムが目安）とはいっても、実際に300グラムを毎日とるのは大変なことです。朝食を食べなかったり、外食する機会が多い人はなおさらです。そこで野菜を一日300グラムとるための工夫をお知らせしましょう。

- ① 朝食を必ずとる（一日二食だけでは、300グラムはとりにくいもの）
- ② 一食分100グラムの目安量を感じる（生野菜なら手で二つかみ、炒め物やお浸しなら一つかみが100グラム）
- ③ 主菜だけでなく、副菜も作る、食べる（野菜で作った副菜を必ずそえる）
- ④ サラダに決めずに、炒め物やお浸しで食べる（生よりゆでたり炒めた方が、かさが減るので多く食べられる）
- ⑤ 外食は、定食か野菜料理にする。
- ⑥ 献立に困ったらなべ物にする（野菜が多くはいり、かさも減るのでたくさんとれる）

9月のこよみ



- 1日 防災訓練
- 1日 防災の日
- 1日 がん征圧月間（～30日）
- 1日 精神薄弱者愛護月間（～30日）
- 3日 空きカン・ビン回収（上界・大総地区）
- 4日 基本健診事後指導（～8日）

のどが渇く

メカニズム

人間の体の60%から70%は水分です。この水分は、呼吸や汗、排泄などで、一日に約二・五リットルも体から出ていってしまいます。失われた水分の補給は、その半分を水などの飲み物に頼っています。のどの渇きをおぼえるのは、体から2%ぐらいの水分が失われたときなのです。

あとがき

広報紙が三百号を迎えた。大方の住民にとって、町の動きや施策の内容を知る機会がは広報紙をとおいてはあまい。それだけに行政に携わる者は、広報紙の活用を今少し考え直さなければならない。住民の知りたいことが知りたい時にタイムリーに報道されるだろうか。これこそ行政広報の原点ではなからうか。また行政側の一方的なお知らせ広報でも意義は薄い。住民の皆さんの紙面参加がもっとあってもいいのではなからうか。これを機に、みなさんの一層のご協力をあおぎたい。

映画鑑賞会
『2.26』
9月24日
午後2時、7時の2回
文化会館、入場無料

27日	23日	21日	15日	13日	11日	9日
焼却残灰回収	秋分の日	秋の全国交通安全運動（～30日）	老人福祉週間（～21日）	敬老の日	子宮がん検診（～13日）	救急の日・救急医療週間（～15日）

商工会伝言板
経営講演会
(聴講無料)

- とき 9月25日(月) 午前1時～2時30分
- ところ 横芝町商工会館 二階ホール
- テーマ 『やる気を起こす褒め言葉』
- 講師 落語家 柱米蔵氏